

使用ツール・VSCode 拡張機能 一覧

株式会社テクノプロ 御中 / AI協働開発ハンズオン講座（情報系・機電系 共通） / 2026年7月24日 株式会社ギブリー

Python は使用しません。研修はVSCode + GitHub Copilot + ブラウザだけで完結します。下記の拡張機能はいずれも**ユーザー領域に入るため、導入に管理者権限は不要**です。データ処理に使う部品は弊社の配布物に同梱するため、別途インストールは発生しません。

必須 これが無いと研修が成立しません

名称	拡張ID	内容とリンク
VSCode 本体	—	1.116 以降 を推奨。この版から GitHub Copilot Chat が標準搭載され、拡張の追加導入が不要になります
GitHub Copilot Chat	GitHub.copilot-chat	チャット・補完・エージェントを担う Copilot 本体。 VSCode 1.116 以降は標準搭載のため導入不要 。それ以前の版を配布される場合のみ、このIDを指定してください（Marketplace 版は旧 VSCode 向けで、2026年5月以降は更新されていません）

ご注意：旧「GitHub Copilot」拡張（GitHub.copilot）は2025年10月を最後に更新が止まり、機能は Copilot Chat 側へ統合されました。Marketplace 上にはまだ残っていますが、**新たに配布リストへ加える必要はありません**。

推奨 ハンズオンの効果が上がります

名称	拡張ID	内容とリンク
Japanese Language Pack	MS-CEINTL.vscode-language-pack-ja	画面を日本語化。VSCode 初見の受講者がメニューで迷わなくなります
Rainbow CSV	mechatroner.rainbow-csv	CSV の列を色分けして表示。AI が整形した結果の 列ズレ を 目で確認 できます
Edit CSV	janisdd.vscode-edit-csv	CSV を Excel のような表形式 で開いて確認・修正。Rainbow CSV と役割が分かかれ、併用できます

CSV 系は**2つ併用**をおすすめします。Rainbow CSV で列のズレを色で確認し、Edit CSV で表として中身を見る、という使い分けです。機電系のデータ下処理ハンズオンで効果が出ます。

あるとよい 用途に応じて

名称	拡張ID	内容とリンク
Live Preview	ms-vscode.live-server	作成した HTML を VSCode 内でプレビュー。Microsoft 純正
Markdown PDF	yzane.markdown-pdf	レポートを PDF 化。 設定の配布が必要 （次ページ参照）

導入方法とご確認事項

閉じた社内ネットワークで事故が起きやすい箇所を、先にお伝えします。

導入方法（2通り）

方法	内容
受講者が自分で導入	VSCode の拡張機能画面で名称を検索して導入。 Marketplace への通信許可が必要です
貴社で事前展開	Marketplace が塞がっている場合は、拡張ファイル（.vsix）を配布し、下記コマンドで一括導入いただけます

```
code --install-extension MS-CEINTL.vscode-language-pack-ja
code --install-extension mechatroner.rainbow-csv
code --install-extension janisdd.vscode-edit-csv
code --install-extension ms-vscode.live-server
code --install-extension yzane.markdown-pdf
```

Markdown PDF をお使いの場合の設定

この拡張は PDF 変換にブラウザを使います。PC 内の Edge を指定しておかないと変換用ブラウザの取得を試み、社内ネットワークでは失敗する場合があります。次の設定をあわせて配布ください。

```
"markdown-pdf.executablePath": "C:\\Program Files (x86)\\Microsoft\\Edge\\Application\\msedge.exe",
"markdown-pdf.chromium.autoDownload": false
```

上記は Edge の標準的な配置です。貴社の環境に合わせてパスをご調整のうえ、**研修前に1台で PDF 変換までお試しください。**

通信の許可とご確認事項

ここが塞がっていると研修が成立しません。事前のご確認をお願いします。

通信の許可（最重要）

GitHub Copilot はクラウドと通信します。塞がっていると**全員サインインできず研修が成立しません**。事前の疎通確認をお願いします。出典は GitHub 公式「Copilot allowlist reference」（2026年7月30日確認）です。

許可する通信先	用途
github.com/login/*	サインイン・認証
api.github.com/user api.github.com/copilot_internal/*	アカウント・ライセンス確認
copilot-proxy.githubusercontent.com origin-tracker.githubusercontent.com	補完・チャットの中継
.githubcopilot.com/	Copilot 本体（補完・チャット・エージェント）
*.individual.githubcopilot.com *.business.githubcopilot.com *.enterprise.githubcopilot.com	プラン別の接続先
default.exp-tas.com	機能フラグ
collector.github.com/* copilot-telemetry.githubusercontent.com/telemetry	テレメトリ
*.githubassets.com / *.githubusercontent.com	サインイン画面の表示に必要（公式の補足として案内あり）
marketplace.visualstudio.com	拡張機能の導入（受講者が自分で入れる場合）

あわせてご確認いただきたい点

- 配布する VSCode のバージョン（1.116 以降なら Copilot の拡張導入が不要）
- 拡張機能の導入方法（受講者が自分で入れるか、貴社で事前展開か）
- 受講者メールリスト（会社アドレス）を初日までにご提供（当日の Copilot 招待に使用）